



県内の治安情勢と防犯対策について

三重県警察本部 生活安全部首席参事官
生活安全企画課長
警視 福島 隆司

県内の刑法犯認知件数は、平成14年に過去最高の47,600件を記録しましたが、平成15年以降は毎年減少し、平成20年は25,348件と、平成14年と比較して-22,252件(-46.7%)となりました。しかし、平成21年3月以降は増加に転じ、本年上半期では、12,529件、前年同期比+502件(+4.2%)となるなど極めて憂慮すべき状態にあります。

増加の要因を見ますと、「車上ねらい」が1,388件(+19.6%)、「自転車盗」が2,218件(+9.1%)と、刑法犯認知件数全体を引き上げる形となっています。また、地域住民に与える不安感の大きい「ひったくり」も92件(+43.8%)と大幅な増加となっています。

◇ 車上ねらい対策

車の中にバッグ等を置いたままにしていたために、車上ねらいの被害に遭うケースが多く見られます。県警では、「車の中に何も置かない」ことと「鍵かけ」の徹底をして、車上ねらいを防止することを目的に、「ドアロックして！ 車内に何もおかないで！」を統一標語に、「車上ねらい撲滅キャンペーン運動」を展開し、被害防止を呼びかけています。

◇ 自転車盗対策

自転車には、購入時に必ず鍵がついていますので、「鍵をかけておけば盗まれない」という意識が働きます。しかし、実際には鍵を壊されて盗まれるケースが多くあります。県警では、自転車に2つの鍵をかける「ツーロック」を呼びかけ、自転車盗の防止対策を推進しています。

◇ ひったくり対策

明るく人通りの多い道を歩くことや、バッグを車道の反対側に持つといった、ちょっとした注意や、ひったくり防止ネットを活用することで被害を防止することができます。県警では、ひったくりの犯行手口を実演するなどして、被害防止の注意点をわかりやすく広報しています。

県警では、検挙と予防を犯罪抑止の両輪として各種対策を推進しています。県民一人一人が防犯意識を高く持ち、犯罪の被害に遭わないよう注意いただきますようお願いいたします。

三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人

三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>



■ ご挨拶

NPO法人 三重県防犯設備協会
理事長 松吉 善弘

会報誌第4号の発刊によせて

今年も残暑厳しい時期ですが、皆様お健やかに過ごしのことと拝察申し上げます。

内外ともまだまだ困難な経済情勢の下、雇用環境の悪化が目立ち、ここにきて身近な犯罪が増加しています。治安を担当される現職警察官の皆様には、残暑と激務の中ご苦勞の多い季節になりそうです。

さて、失業は生活基盤の破壊による不安と精神的なストレスを増幅させ、自暴自棄で刹那的な犯罪に走る者まで生み出します。大阪のパチンコ店の放火事件などを見ますと、社会的な不安が今まで以上に増大していくかのように感じます。

また、中谷巖氏が『高齢化の大きなうねりは、「貧困」と「孤独」がキーワードである』と産経新聞の正論コーナーで説いておられますが、このことも大きな問題です。

ご高齢の方が一人で生活される場合、ご近所とのお付き合いも疎遠となりがちです。

その上、訪ねてくれる子供たちや親族が近くにいない場合、どうしても話し相手がなくなり、孤独感が募ります。しかも、経済的に困りの方も相当数にのぼると思われまます。

石川五右衛門の「浜の真砂は尽きるとも、世に盗人の種は尽きまじ」という辞世の句がありますが、現実に被害にあわれた方のご心痛はいかばかりでありましようか。

自分たちの住む街を本当に「安全で安心できる場所」にするためには、「住民一人一人の意識」がとても大切だと誰もが感じています。いかに優秀な警察官といえども街の隅々まで目が届きませんし、行政サービスを期待してもとても予算的に無理なことです。

我々は防犯設備士としてどんなことができるのか、真剣に考えていただきたいと思ひます。

幸いにして会員諸兄の周りには、さまざまなジャンルの「防犯のプロ」が沢山います。

NPO法人三重県防犯設備協会のネットワークを利用していただければ、様々な情報や知恵が得られるとともに、理事や会員各位のマンパワーもあります。皆さんが各地域の自治会や老人会などで、地域に合った防犯の出前講座をやっていただくもよし、防犯診断を実施していただくもよしです。

会員の皆様が、防犯設備士・総合防犯設備士としての力を発揮していただくことが、地域防犯の第一歩になると確信しています。どうか皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

■ 協会の活動内容

1. 21年度総会とスキルアップ講習会を開催



21年度総会の模様



スキルアップ講習会の模様

平成21年5月21日 アスト津4階A研修室において 「平成21年度定時総会」が開催されました。来賓として、三重県生活・文化部より交通・地域安全室 総括室長 大西春暢様、三重県警察本部より生活安全部首席参事官 生活安全企画課長 警視 福島隆司様、(社)三重県防犯協会連合会より事務局 局長 杉原学様、(社)日本防犯設備協会より 業務部長 河原崎富夫様のご臨席を賜り、午後2時より開始、各議案について報告・審議が行なわれ、全議案とも承認されました。

また、総会終了後休憩をはさみ、下記の「スキルアップ講習会」も開催されました。

①「日本防犯設備協会と全国地域協会との連携について」 「優良防犯機器認定制度」 ほか、
講師：(社)日本防犯設備協会 業務部長 河原崎 富夫様

②「最新の入退室管理システムとオフィスセキュリティ」

講師：パナソニック電工(株) 電材マーケティング本部 参事 村上 和一様

(前岨副理事長記)

2. 伊勢警察署で防犯講座



100名の警察官を前に挨拶する理事長



防犯ガラスの威力を現物で説明

平成21年5月28日伊勢警察署例会にて伊勢署員に対してCP製品の理解を深めていただく防犯講演を実施致しました。

今年度、期初に各理事が三重県内の警察署へご挨拶に廻った際、CP製品の内容を伊勢署生活安全課長様にご説明したところ、「広く署内のメンバーにもCPについて教えて欲しい」との申し出によって実現したものです。

伊勢署管内の各課警察官約100名に対しての講演で、松吉理事長も多少緊張気味で挨拶され、つづいて宮嶋が「防犯建物部品」についての説明と錠前の各防犯項目と内容を説明しました。

警察官の方々もCPについては詳細まで理解されていない方が多く、サムターン回しの手口をご存知の方は約3割ほどでした。

CP錠前（主錠・補助錠）の防犯性能（ピッキング/サムターン回し/ドリル攻撃/バール攻撃など）を説明した後、藤村理事によるガラス関係の講演に移りました。

持ち込んだサッシの現物は、志摩市で実際に侵入盗によって破壊された実物で、被害者は1週間の海外旅行中に防犯ガラスを割られクレセントまで外されながら、2ロック目で侵入されなかった「防犯ペアガラス」を皆さんに確認していただき、実際のCP製品の性能を肌で感じていただきました。それと共に防犯ガラスは、ここまでされても侵入されなかったことに、一同本当に驚かされていたのが印象的でした。

また、防犯ガラスの仕組みを、カットサンプルなどで正しく理解をいただきました。

このような地道な活動を通じてCP製品を世の中に普及をさせるべく、三重県防犯設備協会は今後も活動を続けて参ります。

（宮嶋理事記）

3. 県PTA連合会で通学路の安全について講演

平成21年3月28日 県総合文化会館会議室において行なわれた三重県PTA連合会評議員会にお招きをいただき、理事長、副理事長が出席しました。

席上、理事長より協会と活動内容についての説明ならびに「子供を守るための通学路の安全」についてのお話をさせていただき、日防設作成のDVD「学童の安全確保のための防犯・防災対策」の紹介と、当協会が作成した「通学路の安全に関するメモ」の配布をさせていただきました。

主催者側より、「頼りになる協会」との評価をいただき、「協会の今後の活動に期待する」旨のコメントもいただきました。

（前嶋副理事長記）

4. DVD「学童の安全確保のための防犯・防災対策」を関係先へ配布

「三防設通信 No.3」でご紹介しました（社）日本防犯設備協会で作成したDVDを2月から3月にかけて各理事が手分けして下記の関係先へお届けしました。

学童の安全と地域の防犯活動に大いに参考になる内容で、積極的な活用が望まれます。

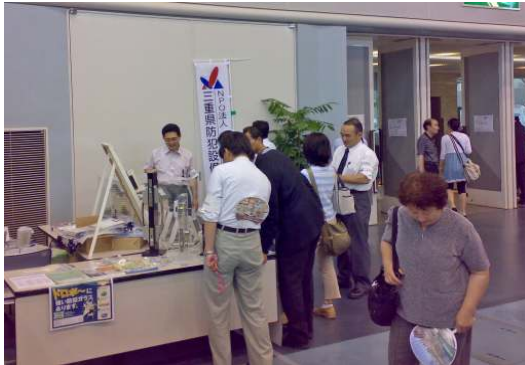
県PTA連合会、津市、四日市、桑名市、いなべ市、鈴鹿市、亀山市、伊賀市、名張市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市 の各教育委員会

5. 社団法人三重県建築士会へ入会

三防設は、平成21年4月、三重県建築士会「本部賛助会員」として入会いたしました。
防犯優良マンション認定事業に関し、建築士会への働きかけと、「安全・安心のまちづくり」について、建築士会各会員に情報発信をして行きたいと思っております。

(藤村理事記)

6. 住まいと暮らしの総合フェアで県警ブースに防犯相談デスクを開設



熱心に質問される来場者



車上狙い防止をPRする県警スタッフ

平成21年6月27日、28日 メッセウイングみえにおいて中日新聞社の主催で、各ハウスメーカーが参加する「住まいと暮らしの総合フェア」が開催されました。

三防設は県警のブースの一部をお借りして相談デスクを開設、防犯設備のパネルによる実演と住宅ジオラマ（泥棒の好きな家、嫌いな家）の展示を行い、増加する侵入盗への備えを呼びかけました。

入場者は2日間で11,000名、そのうち三防設のコーナーへ立寄っていただいた来場者は約200名（大半が30～40代のご家族）で、当コーナーへの来場者はカメラ付インターホン、CP錠、防犯ガラスに関心を示され、中には具体的な侵入口の防犯対策の相談なども見受けられました。

また、住宅ジオラマ（模型）も理解しやすいと好評でした。

当日は防犯関連機器のカタログと共に協会会員会社のご案内チラシを配布しました。

(事務局 加藤記)

7. 県 生活・文化部の要請により防犯出前講座に出席

平成21年1月31日 三重県生活・文化部様より要請のあった防犯出前講座に出席しました。

出前講座講師として伺った先は、菰野町にある（株）佐野鉄工様で、「企業として地域防犯活動を始める」ことを検討中とのことで、今回 県生活・文化部を通じて出席の要請をいただいたものです。

当日は、生活・文化部藤井主幹様と理事1名が講演し、「犯罪と防犯設備の現状」をテーマに、佐野社長以下約50名の方々が熱心に受講されました。

(前岨副理事長記)

8. ララスクエア四日市(駐車場)の防犯環境調査

平成21年6月9日 四日市南警察署生活安全課様の要請により、お伺いしました。

当日は理事長と理事1名が四日市南警察署生活安全課の内田課長様、山下係長様と現地に同行し、地下及び立体駐車場の防犯環境について調査させていただきました。

こちらは市の中心部であり百貨店、商店街、近鉄四日市駅等に近く人や車の多いエリアで、周辺および施設利用者の安全・安心のためにも、防犯対策が大変重要なところですので。

それだけに、防犯対策や管理体制等も十分に整えられ、管理責任者様の防犯環境への熱心な気配りなども種々拝見いたしました。

後日、協会より「防犯的所見についてのレポート」を四日市南署を通じて提出いたしました。

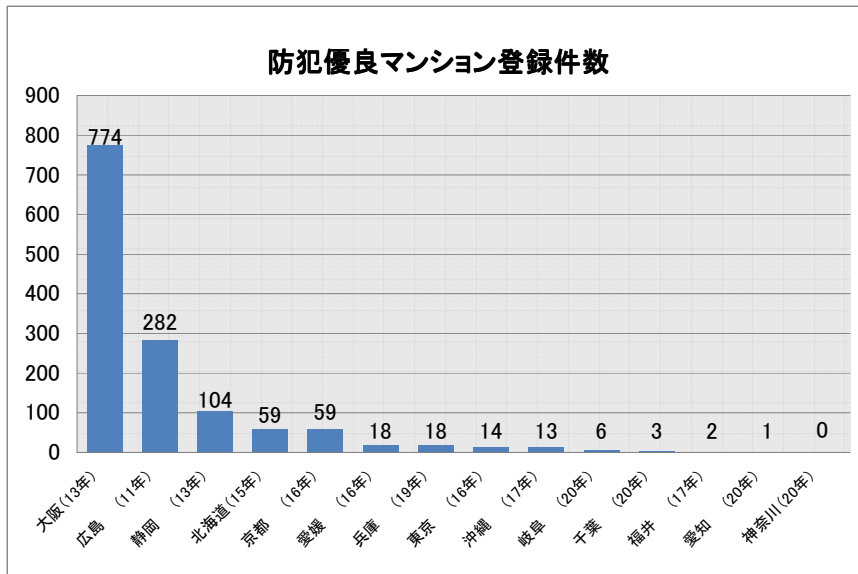
(前岨副理事長記)

9. 主要警察署、県警の生活安全課を訪問

部署責任者の移動にともない4月15日から、理事長と各理事が手分けして各署を訪問し情報交換と今後

の連携を確認しました。警察本部、津、津南、亀山、鈴鹿、桑名、いなべ、四日市西、四日市南、四日市北、伊勢、鳥羽、松阪、大台の各署生活安全担当部署、その他の署は順次訪問を予定しております。

10. 防犯優良マンション認定制度の事業化推進



注：地区別登録件数、開始年度は全国防犯協会連合会のホームページからの調査による

制度導入のための調査、研究を進めており継続して認定制度の早期実現に向けての具体的な準備に注力して参ります。関係先のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

「防犯優良マンション認定制度」は平成18年に警察庁、国土交通省から発表された指針を契機に全国的な展開が図られております。

すでに19都道府県で実施されており、東海地区では愛知県、岐阜県、静岡県で実施されております。

左図は平成21年6月現在の各地区別登録状況です。（一部HP未公開地区は含まれておりません）

防犯優良マンションに対する一般の認知度が低く、加えてマンションの販売伸び悩み、コストアップ要因の排除などで普及が遅れているのが実状です。

しかし、静岡県で実施された防犯優良マンションの居住者に対するアンケート調査では、入居者の68%が防犯優良マンションであることが購入決定要因となっております。

三防設では平成20年より三重県でも制

■ 今後の活動計画

1. 防犯優良マンション認定制度事業化推進
3. 県・県警と連携した防犯講習会開催

2. 学童の安全対策に関する調査・研究
4. 全国地域安全運動への協賛

■ 関連行事・イベント、その他

第2回防犯優良マンション認定機関に関する説明会

平成21年2月9日（財）ベターリビング本部（東京都千代田区）で実施された、第2回防犯優良マンション認定機関登録説明会へ出席しました。

主催者側からは、（社）日本防犯設備協会の吉田専務理事をはじめとして、（財）ベターリビング、（財）全国防犯協会連合会より数名が、また受講者側としては、全国各地の防犯設備士団体、建築士団体、行政担当者等約50名が出席しました。

今回の主旨は、全国各地で独自の運用をされてきた「防犯優良マンション認定制度」の標準化を図るべく「防犯優良マンション認定事業支援要綱」を策定し、「標準認定規程」「標準認定基準」に基づき運用するための説明および意見交換です。

この標準化された「防犯優良マンション認定制度」を運用するためには、各地域の住宅・建築に係る公益団体と防犯に係る公益団体（三重県ではNPO法人三重県防犯設備協会）が一組になり、「防犯優良マンション登録認定機関」としての要件を満足することが必要となります。

要件の一つとして、予め必要な教育を受講し、試験に合格した「認定審査資格者」が4名以上（住宅・建築側防犯側各2名ずつ）選任されていることが必要であり、当該教育の今後の進め方について説明がありました。

各地域団体の今後の登録予定についてのヒアリングや、意見交換が実施されましたが、すでに運用されている地域の審査経費、運用状況等の問題点やこれからの標準化に向けた対応について活発な論議がなされ

ました。

最後に、既に「標準化された」防犯優良マンション認定制度を運用されている愛知県の(財)愛知県建築住宅センターより報告があり、現在の認定実績がまだ0件ということで、今後の申込の増加に期待しているとのことでした。

(楠理事記)

■ 新商品紹介 (三防設通信 発送時カタログを同封しております)

・パナソニック電工株式会社

玄関番プラス(WQH510・・・W型、WQH500W・・・S型)



玄関番プラスW型親機

- 「玄関番」のモニターを5型大画面タッチパネルにし、さらに火災警報やセキュリティ、省エネモニターなどの機能をプラス
- ・5型大画面モニターで見やすく、タッチパネルで簡単操作(親機のみ)
 - ・ワイヤレス住宅用火災警報器(連動型)、ワイヤレス防犯センサーなどを受信器なしで直接《玄関番プラス》に接続(W型)
 - ・センサー付カメラを接続すれば侵入者をしっかりキャッチして自動録画
 - ・毎日の電気使用量がチェックできるので、省エネに役立ちます(W型・S型)(別途、住宅分電盤と「玄関番プラス専用計測ボックス」が必要です。)

・美和ロック株式会社



iELマンション用インテリジェント電気錠

iELマンション用インテリジェント電気錠

ワンドア・ツーロックが標準のマンション用電気錠システムです。

- ・暴力破壊攻撃に強い鎌デッドボルト、サムターン回し攻撃に備えた防犯サムターンなど、防犯性能にも充分な考慮をしています。
- ・2ロックの場合では上側のシリンダーを施錠すれば下側が自動的に施錠となる施錠追従機能を採用。
- ・また、サムターン回し等で片方のシリンダーが解錠された場合でも、20秒経過すると自動的に施錠となる施錠復帰機能も付いており高度な防犯性能を有しています。Felicaとノンタッチキーを使用するタイプは平成19年4月よりCP部品の認定を取得しています。

■ 会員紹介

・会員動向

新入会員

なし

退会

なし

・会員プロフィール紹介

藤原 恵三

(NPO法人 三重県防犯設備協会 理事)



住所

三重県津市

勤務先

パナソニック電工株式会社 三重営業所

電話

059-227-2251

E-mail

keizou@panasonic-denko.co.jp

HP

http://panasonic-denko.co.jp

趣味

スポーツ(ゴルフ、テニス、野球)

「安全・安心なまちづくり」のために、最先端のセキュリティー商品をご提案しながら、三重県防犯設備協会の仕組みづくりに少しでもお役に立ちたいと考えています。よろしくお願ひします。

■ 事務局からのご連絡

・防犯セミナーやイベント時のご連絡

今回、三防設としてはじめて「住まいと暮らしの総合フェア」へ出展しました。今後この種のイベントや防犯セミナーの開催予定を会員の皆様にEメールなどでお知らせするよう進めてまいります。

・次回発行予定 三防設通信は第5号を2010年1月にお届けの予定です。

・三防設のホームページアドレスは <http://www.miebouhan.com> で、日防設はじめ全国の防犯設備士(業)協会ともリンクが張られておりますのでご利用ください。

・今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。

メール/ info@miebouhan.com または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0112 三重県津市一身田中野93-1(三重電業内)

TEL 059-232-0303

FAX 059-232-5586